

「支所発地域力向上支援金事業」を募集します!

- ◆交付対象者: 若槻支所管内に居住する者又は若槻支所管内の事業所に勤務する者を構成員に含む地区内で活動している団体(グループ)
 - ◆交付対象事業:
 - (1) 地域住民の保健福祉の充実を目的とする事業
 - (2) 地域住民の教育や文化の振興を目的とする事業
 - (3) 地域の安全安心の実現を目的とする事業
 - (4) 地域の環境保全や景観形成を目的とする事業
 - (5) その他地域の活性化のために管轄する支所長が認めた事業
 - ◆支援金の交付額:
 - (1) 補助対象事業費 3万円以上
 - (2) 補助率 10/10以内
 - (3) 補助限度額 1事業当たり、原則10万円を限度とする。(ただし、予算の範囲内で50万円を限度として加算可)
 - ◆募集期間: 令和6年4月22日(月)~令和6年5月24日(金)
 - ◆その他: 自主防災機材の購入等は「長野市自主防災組織強化事業補助金」の対象となる場合がございますので事前にご相談ください。
- 詳細は、若槻支所にお問い合わせください。
【お問い合わせ・申し込み先】若槻支所 電話296-3908

【参考】過去の交付実績

区行事関連	区環境美化関連	神楽関連	各種団体関連
・イベント用テント ・ポッチャー式 (防災関連は別の補助金あり)	・ブロワー ・チェーンソー ・倉庫	・神輿用団扇 ・太鼓張替 ・提灯修理	・三登山太鼓・三登山トレッキングコース愛護会 ・つみくさ会・KGC・若槻老人クラブ連合会 ・区老人会など

第35回若槻郷土史研究会講演会のご案内

長野盆地の生いたちと地質学者八木貞助

1. 日時: 令和6年5月16日(木)
午後1時30分~3時30分
2. 場所: 若槻コミュニティセンター体育館
3. 入場料: 会員以外は300円(会員は無料)
4. 講演の演題・講師

『若槻徳間生まれの地質学者・八木貞助の活躍』
講師: 田辺智隆氏(長野市戸隠地質化石博物館研究員)

1879年(明治12年)徳間村生まれの地質学者・八木貞助氏は、在野の地質学者として活躍した保科百助氏(五無齋)の影響を受け、校長を務めながら県内各地の植物・鉱物・地質の研究に取り組みました。

主な著作は『信濃鉱物誌』『浅間山』『高遠之桜』『上高井郡地質誌』『更埴地質誌』『長野県の地下資源』『概説信濃の地下資源』『善光寺地震百年忌記念善光寺地質誌』などです。

自分の故郷の地質を何とかまとめたいと八木貞助氏の提案を受け、戦争で中断していた地質調査委員会が1946年(昭和21年)再開しました。

1958年(昭和33年)『上水内郡地質誌』が出版されました。著者は八木貞助氏と息子で東北大学理学部教授の八木健三氏の親子2代でまとめた本です。

『上水内郡地質誌』は長野周辺の地形や地質の様子が細かく記載され、掲載された写真も貴重なもので、今でも長野の大地を調べる上で貴重な資料となっています。自分たちの暮らす地域を、地質の面から見つめ、大地の生い立ちを知り、産業や防災に活かし、生活を向上させようという意気込みが感じられます。

問合せ:
若槻郷土史研究会副会長 北條昭吾(090-9353-8790)
(若槻郷土史研究会)

コミわかグリーン倶楽部

活動の紹介と
運営参加へのお誘い

仲間と一緒に汗を流しませんか! (市民菜園管理)



コミわかグリーン倶楽部は平成21年度の区長会メンバーが中心に当時のコミわか役員など多くの賛同者の参加を得て、平成22年2月に一般社団法人として発足しました。

地区内の遊休農地となっている荒れた畑を市民菜園として再開発して、遊休農地拡大の流れの阻止、美観維持、防災、病害虫発生防止を図ることを目的にしています。

当初は約20数区画からスタートし、毎年区画を広げてきました。おかげ様で令和6年1月末では約240区画に達し、ほぼ空き区画がない状態です。

これまではコミわか事業に携わった方々や農園利用者の方も参加されています。

私たちと一緒に活動していただける方の入会を切望しています。

主な活動は各市民菜園の共用部分の草刈りで、5月~8月の間、早朝1時間程度の作業(刈払い機使用)が主な仕事で、年間4、5回の作業です。仲間との共同作業ですので、気軽に楽しみながら作業が進みます。季節ごとの会員交流会も行われ、楽しんでいます。

勿論僅かですが、実績に応じた活動費は支給します。入会お待ちしております。

まずは、コミわか事務局(266-0034)へお問い合わせください。

(E-mail) komiwaka@bj.wakwak.com
(コミわかグリーン倶楽部)